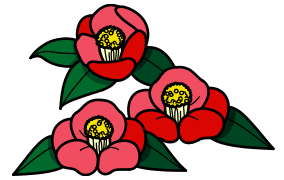


教育目標

- ・よく考える人になろう
- ・進んで行動する人になろう
- ・責任感の強い人になろう
- ・豊かな心をもった人になろう



21世紀に生きる君たちへ

校長 眞々田 透

学校が始まって15日ほどすぎましたが、子供達は年があらたまり、今までを振り返りこれからどうするかという気持ちでいることと思います。一人一人がそれぞれの目標に向かって日々の努力を怠らず、自分の目標に向かって突き進んでいってくれること願っています。

朝礼で私は、司馬遼太郎さんの書いた「21世紀に生きる君たちへ」という本を生徒に紹介しました。この作品は、小学校6年生の教科書に載っていて、「子供達にどうあってほしいか」「どのような社会であってほしいか」ということが語られています。この本は21世紀の子供達への優しいまなざしと心温まるメッセージを含んでおり、子供だけでなく、日本人全てに夢と希望を与える作品として、今でもいろいろな人に読まれています。

特に最後の部分で、「自分に厳しく、相手にはやさしく、という自己を確立させなければなりません。これは決して自己中心になるということではありません。人間は社会をつくって生きています。社会とは支え合う仕組みです。そして、人間は互いに助け合って生きているのです。助け合うという気持ちや行動のものは、いたわりという感情です。『他人の痛みを感じる』それを『やさしさ』と言い換えていい。『いたわり』『他人の痛みを感じる』『やさしさ』はみな似たような言葉であり、もともと一つの根から出ているのです。根といっても本能ではありません。『人をいたわる』、この根っこの感情こそが、21世紀に生きる君たちに最も重要なものであり、だから私たちは訓練してそれを身に付けなければならないのです。だから、この根っこの感情を自己の中でしっかり訓練して、根付いていけば、『いたわり』の気持ちが出てきます。これは人間が生きていく上で、欠かすことのできない心構えです。日本人の良さは世界からもこういうところにあると思います。そして、『いたわり』『他人の痛みを感じる』『やさしさ』を身に付けることが必要で、そのために繰り返し訓練することが大切だと思います。例えば、友達がころぶ。ああ痛かったらろうなという気持ちをもつことです」と述べられています。

司馬さんが述べているように、私は、何よりも人の気持ちを考えることが大切だと思います。次に「ありがとう」「すみません」「おかげさまで」「お先にどうぞ」など自分の素直な気持ちを言葉に出して伝えるということです。そして、人の苦しみや悲しみに気がつかないで過ぎることはあるかもしれませんが、自分のためではなく、人のために少しでも何か役立つ行動をするということも大切だと思います。

当たり前のことですが、この3つのことを一人一人が心がけて生活をしていれば、今まで以上に安心で充実した学校に必ずなると思います。

3年生は進路の希望を実現するために最善を尽くしていることと思いますが、十分健康に気をつけて、最後の最後まであきらめずに力をつけてほしいと思います。自分一人ではありません。家族や先生、周りの人たちが応援していることを忘れないでほしいと思います。1月からの3ヶ月間は、生徒たちにとっても学校にとっても一年間のまとめの時期となります。一年間を振り返りながら来年度に向けて課題を話し合い、どのように具体的に取り組むか検討して参りたいと思います。皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

部活動や地域で活躍しています！

○陸上競技部 第52回東京都中学校ロードレース大会女子2.3年生の部1km競争2年女子第1位、2年女子第3位、2年女子第4位、2年女子8位。1年生の部1年女子第1位、1年男子第3位

3年生への応援メッセージ

3年生にとっては、いよいよ受験本番を迎えることになりました。22日は私立推薦入試、26・27日は都立推薦入試。2月10日からは私立一般入試。2月24日は都立一般入試と続きます。精一杯頑張っている3年生に対して、中央委員会の1.2年生から応援のメッセージを3年生の教室から見えるように体育館の窓ガラスや3年生が使用している階段に貼りました。また、20日の全校朝礼では、1.2年生全員がクラスごとに寄せ書きした応援色紙を3年生に贈呈しました。



応援メッセージ [乗り越えられない壁はない!
自分の力で明日をつかめ]



応援メッセージ「夢に向かって はばたけ」



応援メッセージ [夢に向かって何事にもあきらめずに
これからも頑張ってください]



クラスごとに作成した応援色紙

感染しないよう予防しましょう

区内小・中学校で数校がインフルエンザやノロウイルスで学級閉鎖となっています。本校では幸い流行ってはいませんが、油断は禁物です。うがいや手洗いの励行や部屋の換気を十分に行ったり、流行時には人混みや混雑する場所への出入りを控えることも必要です。症状がある場合は、速やかに病院で診察を受けて下さい。また、人に感染させないようにすることも大切です。